

国際水準の獣医学教育実践に向けた VetJapan Southのカリキュラム改革

山口大学共同獣医学部
佐藤晃一



獣医学教育開始

1944年 山口高等獣医学校設置

4年間の教養・
専門教育開始

1949年 農学部獣医学科設置（4年制）

0次カリキュラム
6年制カリキュラム
開始

1984年 農学部獣医学科 6年制へ移行

1次カリキュラム
国際水準の
獣医学教育実践

1990年 連合獣医学研究科設置

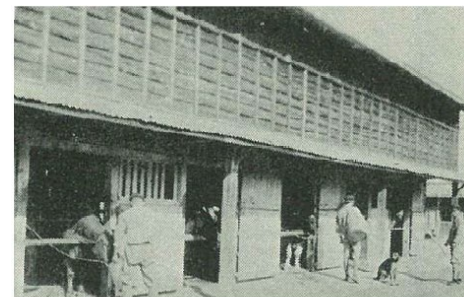
2次カリキュラム
EAEVE対応
カリキュラム実践

2012年 共同獣医学部設置
獣医学教育モデル・コア・カリキュラム開始

3次カリキュラム
日本型教育
対応カリキュラム

2018年 共同獣医学研究科設置

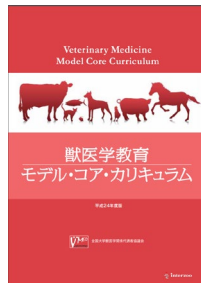
2019年 EAEVE認証取得



家畜舎（『山口農業高等学校100年史』より）



共同獣医学部設置に伴うカリキュラム変更



国際水準の獣医学教育
コアカリ科目への対応

0次カリキュラム

1次カリキュラム

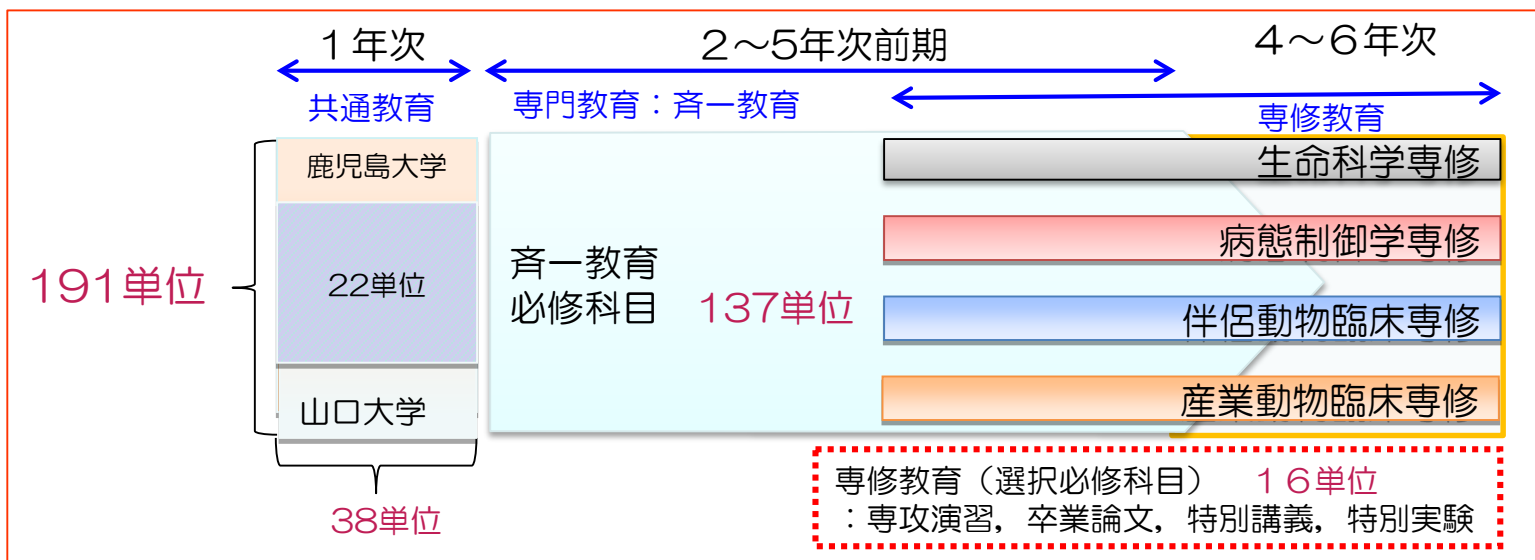
1 卒業に必要な単位数及び履修時間(2008年入学生)

	単位数	
	うちコアカリ科目*	うちコアカリ科目外
獣医学専門教育科目		
必修科目	112	16
卒業論文		6
選択必修科目	24	1
選択科目		2
教養科目		40
小計	136	65
総計		201

卒業に必要な単位数及び履修時間(2013年入学生)

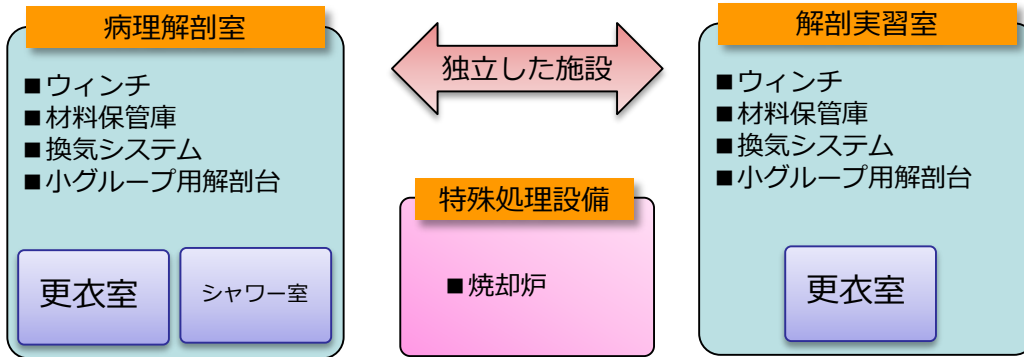
	単位数	
	うちコアカリ科目*	うちコアカリ科目外
獣医学専門教育科目		
必修科目	133	4
卒業論文		6
選択必修科目		10
選択科目		
教養科目		38
小計	133	58
総計		191

選択科目・選択必修科目の削減



EAEVE認証における「主要な欠陥事項 (Major Deficiency)」

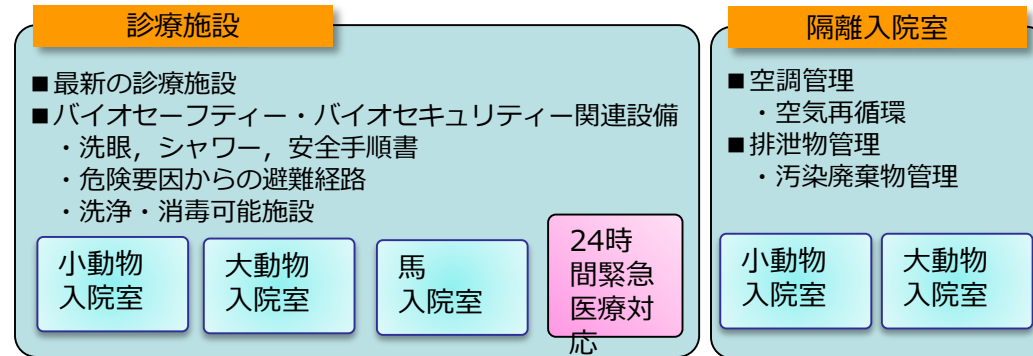
病理・解剖実習関連



求められる教育実施方法

- 実習は10人以下のグループで実施
- デモではなくHands-on実習
- 剖検数 (学生1人あたり)
 - ・ 食用動物・馬: 1.036頭以上
 - ・ ニワトリ・兎: 0.601羽
 - ・ 伴侶動物: 1.589頭

診療・臨床実習関連



求められる教育実施方法

- 実習は5人以下のグループで実施
- デモではなくHands-on臨床実習
- 診療数 (学生1人あたり)
 - ・ 伴侶動物: 48.061頭
 - ・ 産業動物 (学内診療): 0.758頭
 - ・ 産業動物 (学外診療): 8.3255頭
 - ・ 産業動物 (群管理訪問): 0.326回

移動診療車

- 産業動物用

Standard Operating Procedure (SOP: Uppsala 2016)

ESEVT 'Uppsala' SOP May 2016



**European System of Evaluation
of Veterinary Training
(ESEVT)**

Manual of Standard Operating Procedure

EUROPEAN ASSOCIATION OF ESTABLISHMENTS
FOR VETERINARY EDUCATION
(EAEVE)

FEDERATION OF VETERINARIANS
OF EUROPE
(FVE)

Annex 2. List of subjects and Day One Competences

1. Day One Competences

1.1 Understand the ethical and legal responsibilities of the veterinarian in relation to patients, clients, society and the environment.

∩

1.36 Advise on, and implement, preventative programmes appropriate to the species and in line with accepted animal health, welfare and public health standards.

2. Underpinning knowledge and understanding

2.1 Understanding of and competence in, the logical approaches to both scientific and clinical reasoning, the distinction between the two, and the strengths and limitations of each.

∩

2.12 The ethical framework within which veterinarians should work, including important ethical theories that inform decision-making in professional and animal welfare-related ethics.

3. List of subjects

3.1. Basic subjects

-) Medical physics

∩

3.2. Specific veterinary subjects

3.2.1. Basic Sciences:

-) Anatomy, histology and embryology

∩

3.2.2. Clinical Sciences:

-) Obstetrics, reproduction and reproductive disorders

∩

3.2.3. Animal Production

-) Animal Production and breeding

-) Economics

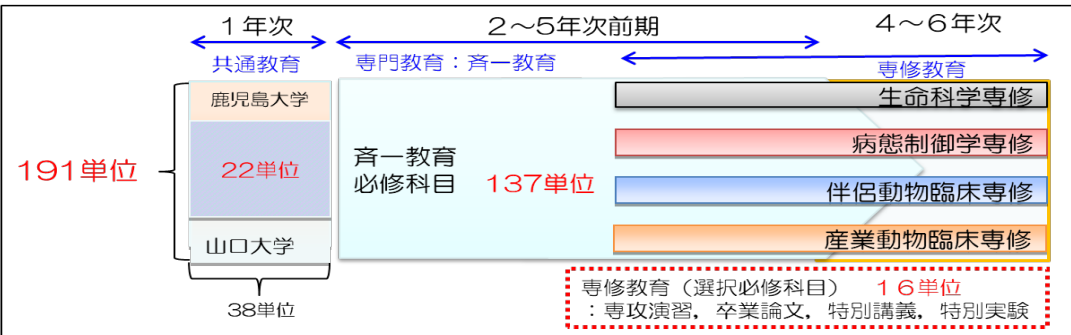
∩

3.2.4. Food Safety and Quality

-) Inspection and control of food and feed

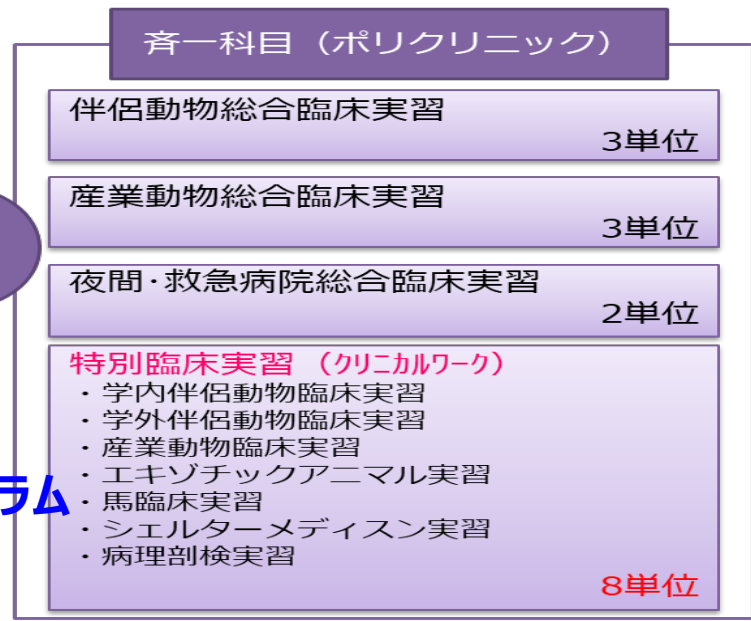
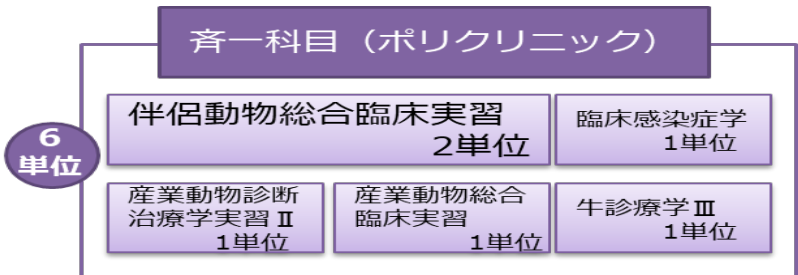
∩

EAVEE認証取得に向けたカリキュラム改定



改定方針:

- ・ 伴侶・産業動物参加型臨床実習増
 - ・ 病理・食検等のHandOn実習増
 - ・ Day One Competencesの導入
- ※卒業要件単位数は変更しない



学外伴侶動物臨床実習

病理学実習（剖検）

改定方針：

- ・伴侶・産業動物参加型臨床実習増
 - ・病理・食検等のHandOn実習増
 - ・Day One Competencesの導入
- ※卒業要件単位数は変更しない

協力動物病院

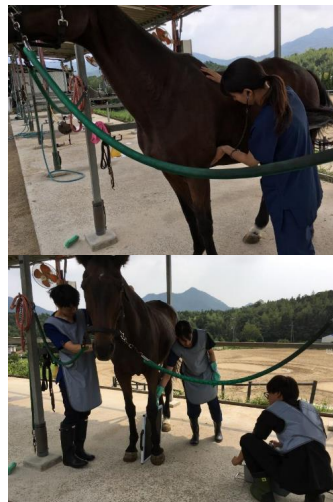



食肉衛生検査実習（豚・鶏・牛）



産業動物臨床実習（牛・豚・鶏）

馬臨床実習





山口大学
YAMAGUCHI UNIVERSITY

共同獣医学部

Joint Faculty of Veterinary Medicine

EAEVE 認証 アジア初の
欧州認証取得

European Association of Establishments for Veterinary Education

EAEVE
European Association of Establishments for Veterinary Education

EAEVEとは
多様な日本に認定機関があるが、山口大学・鹿児島大学では「欧州獣医学教育機関協会」と呼称、欧州の獣医学高等教育機関が共同運営する公的組織で、獣医学教育の認証評価を行っている。今日の日本の認証取得は、山口大学・鹿児島大学と北海道大学・福井県立大学が関与の「国立獣医系4大学連」による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築（2012-17年度）による支援を受けて、獣医学教育改善のために共同教育課程・学修を構築し、国際通用力のある獣医師の養成と日本の獣医学教育の水準向上を期した連携事業の成果の一つ、北海道大学・福井県立大学も同時に認証を取得した。

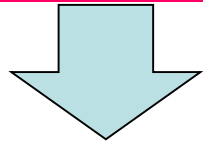
○ EAEVE認証取得後のアンケート結果

プラス

- 多種多様な動物を扱える（臨床・剖検）
- Hands On実習の増加（食肉検査含む）
- 多分野を学生全員が体験
- 学生の意見を反映するシステム構築
- 教育研究施設と設備の充実
- 教員として国際的獣医学教育の理解

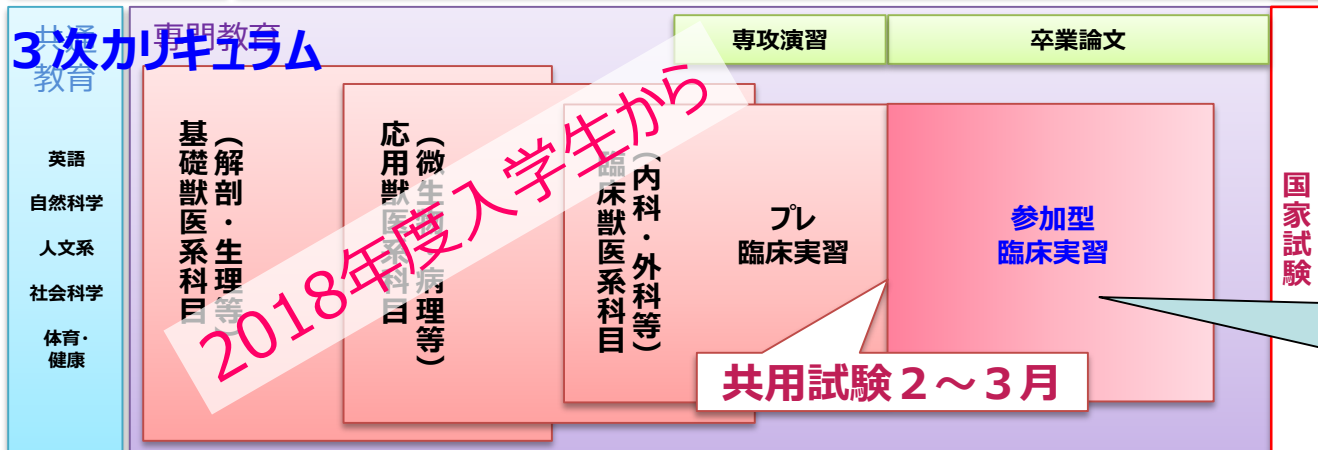
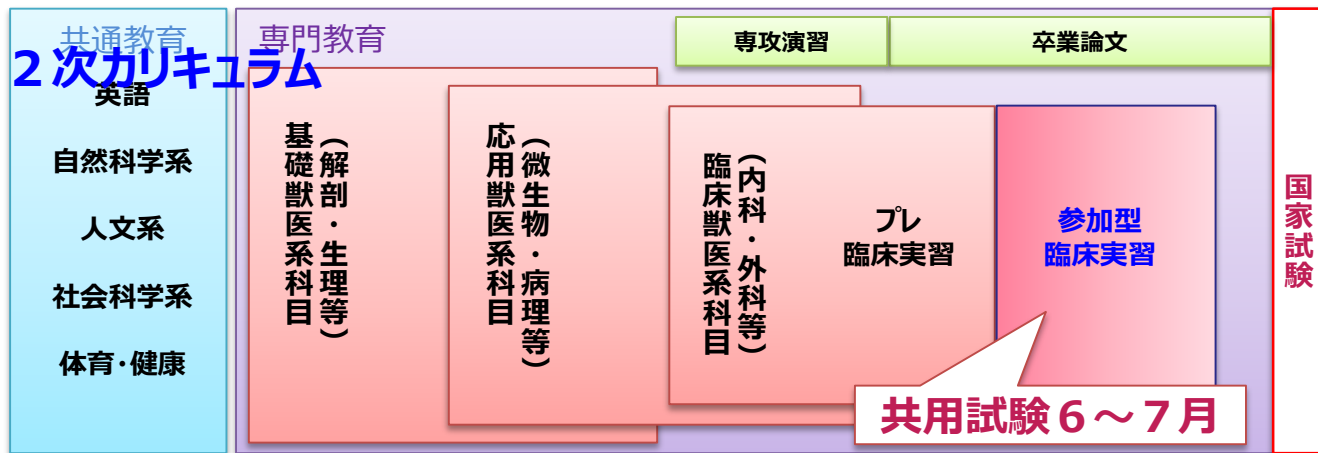
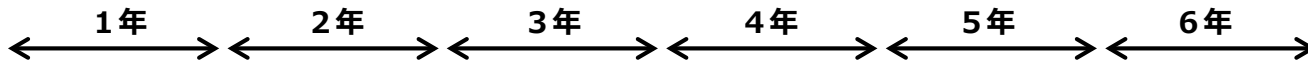
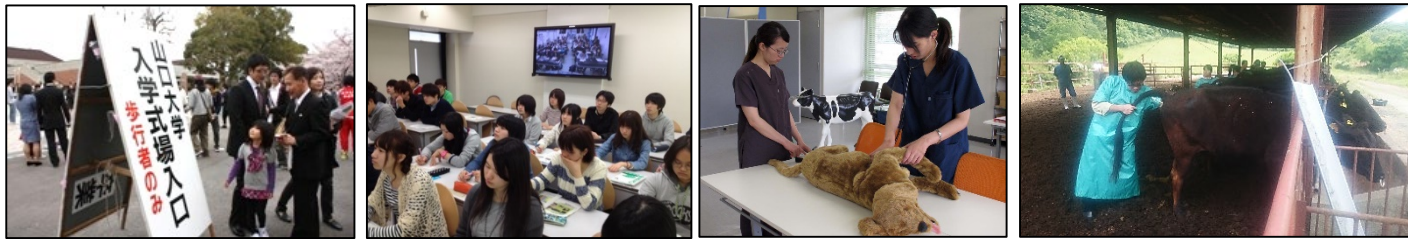
マイナス

- 学生の自由時間（就活・学外実習）削減
- 学生と教員の研究時間削減と研究力低下
- 一部の研究室に負荷集中（教員・学生）
- 学生が義務として行い受動的態度増



高学年での自由な時間を確保

認証取得後のカリキュラム改定



獣医師



- 活動時間確保
- ・就職活動
 - ・公務員試験
 - ・インターン

国際水準の獣医学教育とコアカリに沿った日本型獣医学教育の両立

- EAEVEやAVMAの獣医学教育改善内容を常に把握する
- 地域，国内の獣医学教育への要望を把握し改善のヒントにする
- 学生の希望や要望を把握しカリキュラムを共に改善する
- カリキュラムは常にPDCAを回転させて改善を検討する

